

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	感染症対策（原油・物価高騰）商工振興事業		会計名称	一般会計		担当課	商工観光課		
			予算科目	7 款 1 項 2 目	事業番号	3168	所属長名	岡井隆治	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	木曾智仁		
法令根拠等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金交付要綱、伊予市版応援金（中小企業者等支援分）交付要綱、伊予市版応援金（市内宿泊施設燃料・物価高騰対策分）交付要綱					実施期間	【開始】	令和／平成 4 年度	
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造						【終了】	令和 4 年度(予定)	
	活力ある商業・工業の振興							☐ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	積極的な支援を行うことにより、商工振興の推進を図る。								
事業の対象	市内事業者			事業の目的	新型コロナ感染症拡大及び原油・物価高騰により打撃を受けた事業者を支援し、事業運営と雇用維持を支えるとともに、アフターコロナに向けた反転攻勢に繋がる取組を行う。				
事業の内容（整備内容）	感染症拡大及び原油物価高騰対策市内宿泊施設運営支援			評価事業としないこととした理由	交付金を活用した単年度事業のため評価対象外とした。				

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
財源内訳	直接事業費	-	0	115,424	0	0	92,646	感染症及び原油物価高騰対策 市内事業者支援事業	円				61551000
	国庫支出金		0	92,633	0	0	92,632						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0	感染症及び原油物価高騰対策 市内宿泊施設運営支援事業	円			31094646	
	その他		0	0	0	0	0						
	一般財源	0	0	22,791	0	0	14						
職員の人工（にんく）数		-	0.80				0.80						
1人工当たりの人件費単価		-	7,794				7,794						
※ 直接事業費＋人件費		#VALUE!	6,235				98,881						
主な実施主体			実施形態（補助金・指定管 理料・委託料等の記載欄）		伊予商工会議所受付業務委 託（感染症及び原油物価高 騰対策市内事業者支援事 業）								
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計		
						-	-	-	-	-	0		

事務事業評価（CHECK）

自己判定（担当責任者）	事業の成果	物価高騰に伴う影響を受けた中小企業（法人・個人）を支援するとともに、宿泊施設についても支援を行い、事業を支えることができた。		
一次判定	事業の方向性	☐ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☒ 事業廃止と判断する	判断の理由	単年度事業のため、事業は廃止するが、同様の交付金が生じた場合は、引き続き支援を進めたい。

二次判定	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐			
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☒	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☐	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☒	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	